

令和3年度 八女市社会福祉協議会 事業報告書



第2次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画 基本理念・基本目標

基本理念

心豊かに、共に支えあい、
安心して健やかに暮らせる、優しいまち 八女

基本目標1 相談しやすい雰囲気づくり

基本目標2 連携した支援ができる体制づくり

基本目標3 絆を深め孤立化を防ぐ地域づくり

基本目標4 社会参加の意識づくり

令和3年度 事業報告書

1 事業の総括

近年、少子高齢化が急速にすすみ、地域における人ととのつながりが希薄化し、経済的困窮等を背景に、これまでの公的な福祉サービスだけで十分な対応をすることが難しい複合的な課題を抱えながらも、制度の狭間で支援を必要としている人たちの存在が地域の中でも認識されている。このような課題に対し、必要な支援を包括的に確保し、地域共生社会の実現をめざした総合的な支援策の展開が求められている。

令和2年4月7日に発令された1回目の緊急事態宣言以降、いまだに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付の相談件数及び申込み件数が増加し続けており、部署の垣根を超える力をあげて申請手続き業務を行った。

令和3年度の新規事業として、八女市から①八女市予約型乗り合いタクシー「ふる里タクシー」運行事業 ②子どもの居場所づくり活動基盤整備事業 ③中核機関（成年後見制度）運営事業 ④ごみ出しサポート事業の受託に加え、社協独自事業として、⑤生活支援サービス「お助けサポート事業」を全市的に実施した。また、8月12日から各地で大雨が続いた「令和3年8月豪雨災害」では、八女市でも床上浸水16件、床下浸水10件の被害が発生した。本会では8月18日に新型コロナウイルスによる感染リスクにも備えながら、立花町山下地区の床上浸水被害者宅において被災地支援活動を行うとともに、権利擁護活動や「互助」及び「共助」の層を厚くする取り組みの基盤固めを行った。

権利擁護活動については居住支援法人活動の拡充により、今年度から新たに生活困窮者等に対する入居前から退去後までの具体的な相談対応を行うなかで、日常生活自立支援事業や成年後見制度による法人後見支援事業、福祉資金貸付事業との連携強化を図ることができ、個別支援に係る生活支援サービス「お助けサポート事業」を活用する等、部署間を超えた横断的な支援強化につながっている。あわせて、把握した生活困窮の課題に加え、8050問題やひとり親世帯が抱える不登校問題、就労できずに深刻な貧困に陥っている世帯等、特に支援ニーズの高い子どもの見守り支援につなげるといった相談支援に取り組む等、包括的な支援体制の整備に努めた。

「互助」や「共助」の層を厚くする取り組みについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、訪問支援（アウトリーチ）の機会が制限されるなかで、生活支援コーディネーター、相談支援包括化推進員（まるごとサポート）及びボランティアコーディネーターの活動を拡充しながら、地域課題の把握をはじめ、地域資源とのマッチング（需給調整）を行いながら、買い物支援や電球交換、布団乾燥、可燃ごみ出し等の生活支援サービスを提供した。

令和3年度の包括的な支援体制構築による活動の大きな成果としては、8050問題からひきこもりの方1名が一般就労につながったことをはじめ、市内の大型スーパーとの連携による買い物支援、生活に困窮された子どものいる世帯への宅食支援及び放課後の居場所づくり等の具体的な取り組みを実施することができた。他にも、これからのデジタル化に対応するべく先行的に黒木地区においてデジタルシニア講座「はじめてのスマホ教室」を開催することができた。

これらの成果をふまえ、コロナ禍における高齢者の虚弱化（フレイル）防止の取り組みや福祉委員、生活支援ボランティア等による見守り機能を強化しながら、引き続き、「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」のもと、訪問支援（アウトリーチ）の徹底と相談支援体制の強化を図りながら、①断らない相談支援 ②社会とのつながりや参加の支援 ③地域づくりに向けた支援を一貫的に実施する基盤づくりをすすめる。

2 各事業の実績報告

(1) 総務部門

ア 理事会	6 回 (うち2回を書面表決にて開催)
イ 三役会	2 回
ウ 評議員会	5 回 (うち2回を書面表決にて開催)
エ 監査	4 回 (5日間)
オ 委員会	

(ア) 福祉サービスに関する苦情解決委員会 苦情がなかったため、実施していない。

(イ) 評議員選任・解任委員会 1 回

(ウ) 第2次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

今年度も市担当課と協議のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止（以下、「感染拡大防止」と記載）のため、実施しないことが決定された。

(エ) 特別養護老人ホームゆいのもり入所検討委員会 3 回

(オ) 授産所麻生園移転に関する委員会 2 回

カ 諸規程の整備

キ 人事、給与

(ア) 顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理の実施

ク 予算、決算及び経理

(ア) 顧問税理士の助言による消費税及び法人税納付関連事務

(イ) 社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務

ケ 顧問弁護士の設置

(ア) 年々複雑多様化する社会福祉協議会の業務上生じる法律問題の迅速な解決を図るために、継続的な相談対応をしていただく顧問弁護士を設置した。

コ 職員の研修

(ア) 全体研修

(イ) 職種別研修

感染拡大防止のため、実施していない。

(ウ) 新任研修

○ 県社協主催の研修会へ参加

実施日	内 容	参加者
5月19日（水）	リモート研修会（「社会福祉施設役職員新任職員研修」） ／接遇マナーについて	4名
5月28日（金）	リモート研修会（「社会福祉施設役職員新任職員研修」） ／社会福祉及び人権等について	4名

サ 管理職会議

(ア) 毎月1回定例にて開催。事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議した。

シ 車両贈呈式の開催

(ア) 令和4年1月19日（水）、一般社団法人生命保険協会福岡協会からの福祉巡回車の寄附にともない、贈呈式を開催するとともに、本会から感謝状を贈呈した。

(2) 地域福祉活動部門

① 広報啓発活動の充実 (ふれあいのまちづくり事業)

拡充 ア やめ社協だよりの発行（年11回）

(ア) 障がい者等に配慮した広報紙づくり

地域福祉活動や行事の案内、報告及び各種福祉情報を掲載することを目的に6ページを基本として発行するとともに、視覚障がいのある人等への情報提供を行う音声コードを掲載し、障がい者等に配慮した広報紙づくりに努めた。

(イ) 役職員による広報編集会議の開催 11回

輪番制による支所広報担当者による原稿作成と会議への参加を得て、内容の点検・充実に努めた。

○ 会議メンバー（8名）：常務理事 理事（1名） 事務局長 総務課長 福祉課長
(本所) 地域福祉係長 (本所・支所) 広報担当者

拡充 イ 社協ホームページの活用及び更新

9月1日（水）から本会ホームページをリニューアルし、市民に見やすい内容に更新するとともに、社協だよりの発行にあわせて随時更新を行う等、ホームページの適切な管理に努め、最新の情報提供を行った。

ウ 社協事業パンフレットの活用

民生委員児童委員連絡協議会等の会議の中で、パンフレットの説明を行う等、社会福祉協議会の事業啓発を行った。

新規 エ LINE（ライン）公式アカウントの開設

8月から本会のLINE（ライン）公式アカウントを開設し、社協事業等の情報発信をはじめ、広報啓発活動の強化に努めた。 (112名登録)

オ マスコミ取材対応

八女市の協力要請により実施している、新型コロナウィルス感染症の影響により困窮されている方に対する緊急支援策として、生理用品等の日用品等の配布状況についてテレビ局の取材（令和4年1月20日）に対応した。

② 福祉総合相談センター事業

ア 本所・各支所に福祉総合相談センターを設置し、子どもから高齢者、障がい者、ひとり親家庭、生活困窮者等の様々な相談対応及び関係機関との連携を強化した。 (件)

相談区分	高齢者	一人親家庭	児童	障がい	生活困窮	その他	合計
本所	162	39	2	175	599	90	1,067
上陽	208	26	7	190	76	17	524
黒木	155	3	1	115	163	33	470
立花	100	0	0	31	76	17	224
矢部	93	0	0	44	2	4	143
星野	42	0	0	13	32	2	89
合計	760	68	10	568	948	163	2,517
前年度件数	613	42	29	477	1,167	196	2,524
比較増減	147	26	△19	91	△219	△33	△7

イ 関係機関との情報交換及び連携強化による相談支援体制の充実

(ア) 介護長寿課と地域包括ケアシステム構築に向けた連携

八女市地域包括支援センター主催の小地域・日常生活圏域ケア会議に参加し、関係機関と連携しながら、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討及び地域課題や地域で必要な資源の把握等に努めた。

(イ) 障がい者相談支援事業所との連携

八女地区障害者基幹相談支援センターリーベル等の関係機関と連携しながら、個別課題の解決に努めた。

(ウ) 八市民生委員児童委員連絡協議会との連携

民生委員児童委員連絡協議会校区定例会への参加及び各種事業の推進を行った。

(エ) 西日本新聞地域見守り隊との連携 活動件数／2件

新聞が数日溜り所在不明になった際に連絡をもらい、アウトリーによる安否確認を行う等、孤独死防止課題解決に努めた。

ウ 地域包括支援センター、リーベル等関係機関との情報交換及び連携強化による相談支援体制の充実に努めた。

(ア) 関係機関の会議及び研修会への参加

参加日	内 容
4月16日（金）	日常生活圏域ケア会議（八女地区）
5月12日（水）	リーベルネットワーク会議アウトリー部会（オンライン会議）
6月18日（金）	日常生活圏域ケア会議（八女地区）
7月14日（水）	リーベルネットワーク会議アウトリー部会（オンライン会議）
7月21日（水）	リーベルネットワーク全体会議（オンライン会議）
9月8日（水）	リーベルネットワーク会議アウトリー部会（オンライン会議）
11月10日（水）	リーベルネットワーク会議アウトリー部会（オンライン会議）
1月26日（水）	リーベルネットワーク会議アウトリー部会（オンライン会議）
3月4日（金）	矢部ネットワーク会議（矢部地区）

③ 暮らしの相談事業の実施（ふれあいのまちづくり事業）

ア 各種相談事業（心配ごと相談・無料法律相談・司法書士相談）

(ア) 相談実績 (件)

本所／支所	本 所	黒木支所	上陽支所	立花支所	合計
心配ごと相談 (水曜日)	第1・3・5	第3	第4	第2	
相談件数	20	2	0	1	23
前年度件数	17	5	4	3	29
比較増減	3	△3	△4	△2	△6
法律相談 (金曜日)	第2	第3	第4		
相談件数	54	49	43		146
前年度件数	51	43	44		138
比較増減	3	6	△1		8
司法書士相談	第3	第2			

(金曜日)			
相談件数	26	15	41
前年度件数	20	6	26
比較増減	6	9	15

(イ) 心配ごと相談員研修会の開催及び各種研修会へ参加

実施日／参加日	研修種類	内 容	参加者
6月25日(金)	内部研修	「離婚問題について」	15名
11月12日(金)	外部研修	「債務整理について」	2名

※外部研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主任相談員及び事務局1名のみ参加。

④ 生活支援体制整備事業の実施（市委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、関係機関及び団体と連携しながら、地域課題を整理し、生活支援体制の整備をすすめた。

ア 生活支援コーディネーターの配置 9名

(ア) 第1層生活支援コーディネーターを1名配置

エリア	配置数	配属先
八女市全域	1名	本 所

拡充

(イ) 第2層生活支援コーディネーターを8名配置

エリア	配置数	配属先	エリア	配置数	配属先
旧八女市地域	3名	本 所	上陽町地域	1名	上陽支所
黒木町地域	1名	黒木支所	立花町地域	1名	立花支所
矢部村地域	1名	矢部支所	星野村地域	1名	星野支所

(ウ) 生活支援コーディネーター連絡会の開催（月1回）

生活支援コーディネーター同士の情報共有及び地域課題の共有化を図りながら、課題解決のための手法等を協議する場として、市地域包括支援係の参加を求め、毎月第3金曜日に連絡会を開催した。

(エ) 外部研修会への参加

感染拡大防止のため、オンライン会議や研修に参加し、生活支援コーディネーターのスキル向上に努めた。

実施日	内 容	参加者
7月21日(水)	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修	5名
8月24日(火)	福岡県生活支援コーディネーター連絡会	8名
9月1日(水)	いきがい・助け合いサミット in 神奈川(オンライン)	8名
9月2日(木)	いきがい・助け合いサミット in 神奈川(オンライン)	8名
10月20日(水)	福岡県生活支援コーディネーター連絡会	5名
10月22日(金)	筑後地区生活支援コーディネーターの会	3名
10月22日(金) ～23日(土)	第14回全国校区・小地域福祉活動サミット(オンライン)	2名
11月2日(火)	地域づくり研修会(八女市未来づくり協議会主催)	9名

12月16日(木)	福岡県生活支援コーディネーター連絡会	5名
1月25日(火)	筑後地区生活支援コーディネーター連絡会	3名
2月28日(月)	福岡県生活支援コーディネーター連絡会	5名

拡充 イ 地域ニーズと資源の状況の見える化（調査・分析）の実施

(ア) ふれあいサロンに継続的に通い、住民主体の活動状況把握と高齢者の生活ニーズや地域資源（サロン以外の地域のつどいの場）について、アセスメントを実施した。

エリア	実施箇所数		
本所	10力所	上陽	5力所
黒木	6力所	立花	5力所
矢部	8力所	星野	8力所

(イ) 「地域のつどいの場」への情報提供及びボランティア活用等の支援

地域資源である地域のつどいの場を把握するため、地域に出向いて、つどいの場の取材を行い、情報提供のツールとして「資源マップ」を作成した。

(ウ) 地域資源情報冊子の更新

平成30年度に作成した食料品や日用品の配達状況等の地域資源情報データを地元商店への訪問を通じて、随時更新に努めた。

拡充 (エ) 八女市ケアトランポリン教室開催への協力

地域におけるつどいの場づくりとあわせて、市介護長寿課及び地元の介護予防自主グループと連携し自主的なケアトランポリン教室の開催に向けて、介護予防自主グループが活動方針や具体的な開催日程等を協議し円滑に活動できるよう支援した。

エリア	ケアトランポリン実施内容
星野	月2回、金曜日の午後に開催

ウ 八女市地域包括支援センターとの連携

(ア) 小地域ケア会議への参加

(イ) 日常生活圏域ケア会議等への参加（年4回開催）

(ウ) ケアマネジメント支援型地域ケア個別会議への参加

実施日	内容
9月15日(水)	2事例検討 八女（長峰地区）・黒木地区
10月13日(水)	2事例検討 八女（三河地区）・立花地区
11月10日(水)	2事例検討 八女（上妻地区）・上陽地区
12月8日(水)	2事例検討 八女（三河地区）・矢部地区
1月12日(水)	2事例検討 八女（忠見地区）・星野地区
2月9日(水)	2事例検討 八女（福島地区・上妻地区）

(エ) 八女市主任ケアマネジャー研修会への参加

実施日	内容	参加者
11月2日(火)	買い物支援報告（八女地区・矢部地区）	2名

拡充 エ 訪問支援（アウトリーチ）による生活課題、支援ニーズの把握

福祉部会・福祉ネットワーク推進委員会等の小地域福祉活動の支援をはじめ、地域に

出向くことで信頼関係づくりを行いながら、必要な支援や働きかけにより問題解決に努めた。あわせて、八女市内の居宅介護支援事業所へ出向き、生活支援コーディネーターの事業説明をはじめ、「ごみ出しサポート事業」や「生活支援サービス事業（お助けサポート事業）」を紹介するとともに、居宅介護支援事業所が実態把握している福祉課題を抱えている高齢者等を上記サービスへつなぐ等、具体的な支援を行った。

(ア) 居宅介護支援事業所への訪問

訪問日	訪問先
6月22日（火）	城戸医院／いすんじま在宅介護支援センター
6月24日（木）	八女ケア相談センター／ケアプラン金太郎
6月29日（火）	いきいきケアプランサービス稻富
6月30日（水）	八女筑後訪問看護ステーション
7月1日（木）	川崎ケアプランサービス／草場内科循環器科医院ケアプランサービス／第二光陽の郷ケアプランサービス
7月5日（月）	J Aふくおか八女ほたるの会介護支援センター
7月6日（火）	八女総合ケアプランセンター

(イ) 地域包括支援センター定例会議への参加

7月13日（火）に開催された八女市八女地区地域包括支援センター定例会議に第1層生活支援コーディネーター（本所）、第2層生活支援コーディネーター3名及び居住支援法人事業担当者1名が参加し、地域包括支援センタースタッフに八女市社協の事業を説明し、地域の課題及び社会資源等の情報共有を図った。8月からは、毎月第2火曜日に定例会議へ参加し、社協事業の説明を行うことで顔の見える関係づくりと連携方法等について共有した。

期日	説明内容
8月17日（火）	お助けサポート事業について
10月12日（火）	法人後見支援事業について
11月16日（火）	日常生活自立支援事業について
12月14日（火）	居住支援法人事業について（居住支援学習会を兼ねて実施）
1月18日（火）	ボランティアセンター事業について

(ウ) 立花地域ケアマネ連携会議への参加

立花地域8カ所のケアマネジャーが集まる連携会議へ参加し、生活支援コーディネーターの活動報告や八女市社協の事業説明及び情報共有を行い、顔の見える関係づくりに努めた。

期日	説明内容
4月8日（木）	お助けサポート事業について
8月12日（木）	社協事業説明、情報交換
12月9日（木）	高齢者虐待について

オ 住民や地元商店等と連携した買い物支援の展開

(ア) 矢部地区の買い物支援（H30.3.29開始）

ゆいのもり施設内の一角落において、地元商店等の協力による食品等の販売を毎週火曜と木曜日に実施した。

販売日数	利用者延べ人数	1日の平均利用者数
98日	1,225人	12.5名

[拡充] (イ) 新たな買い物支援地区のモデル化の検討

○ 八女地区

ゆめタウン八女及び商工会議所を通じて地元商店街連合会会長へ昨年度実施した「買い物環境等地域課題に関する調査報告書」の中から買い物支援に関する課題を報告し、八女市において大型スーパーなど地元商店と連携してできる具体的な内容等について協議した。

◆ 地元商店街連合会

実施日	内 容
6月22日（火）	今後の買い物支援策に関する具体的な内容等について提案

◆ ゆめタウン八女

実施日	内 容
7月13日（火）	今後の買い物支援策に関する具体的な内容等について提案
7月21日（水）	買い物支援策に関する開始時期及び具体的な内容等について協議
8月17日（火）	注文、配達及び購入代金の支払い方法等について協議
8月31日（火）	注文書及び注文品等について協議
9月22日（水）	注文書及び注文品等について最終協議
10月8日（金）	買い物支援（有償サービス）開始

◇ 買い物支援内容

一人暮らし高齢者等を対象に、ゆめタウン八女が作成された買い物支援専用のカタログをもとに注文された商品を社会福祉協議会ボランティアセンターに登録されたボランティアが安否確認も兼ねて週に1回宅配を行った。

(※1回の利用につき、商品購入代とは別に利用料200円徴収)

◇ 支援実績

・ 利用者 2人

・ 月別内訳

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
7	5	7	5	6	7	37

◆ トライアル八女店

実施日	内 容
2月3日（木）	今後の買い物支援策に関する具体的な内容等について提案
2月10日（木）	買い物支援策に関する開始時期及び具体的な内容等について協議
2月15日（火）	買い物支援策に関する開始時期及び具体的な内容等について協議
3月7日（月）	注文書及び注文品等について協議

3月10日(木)	注文書及び注文品等について協議
3月15日(火)	注文書及び注文品等について協議
3月28日(月)	注文書及び注文品等について最終協議

カ ボランティアセンターとの連携による生活支援ボランティア養成講座の開催

(ア) 生活支援ボランティア活動の推進

日常生活上の生活課題解決と生活支援ボランティアの登録の推進を図るために、生活支援ボランティア養成講座を開催し、1名の方にボランティア登録をしていただいた。

実施日	内 容	参加者
9月29日(水)	「事業説明及び支援員登録等について」	12名

新規 キ 生活支援サービス事業（お助けサポート事業）の実施

今年度から布団乾燥やゴミ出し、買い物代行等、生活上のちょっとした困りごとを解決するために、市民参加による生活支援サービスを全市的に実施した。実施にあたり登録ボランティアに協力をいただきながら具体的支援を実施した。

(ア) 支援実績

支援内容	件数
不燃・資源ゴミ出し支援	13件
布団乾燥	10件
買い物代行	28件
電球交換	3件
つどいの場送迎	137件
にっこり広場見守り	11件
軽作業（荷物移動等）	3件

(イ) 生活支援ボランティア登録の推進

具体的な支援（可燃ごみ出し支援）を実施するために、広報やめ及び社協だよりにて生活支援ボランティアの募集を行い、48名の方に登録いただいた。

○ 協力者登録数

登録エリア	登録者数				
八女	16名	上陽	6名	黒木	9名
立花	7名	矢部	2名	星野	8名

拡充⑤ 八女市ごみ出しサポート事業（市委託事業）

ア 具体的支援の実施

ごみ置き場まで持っていくことが困難なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯及び障がいのある方がいる世帯等を対象に、事前に社協ボランティアセンターに登録いただいた生活支援ボランティアを派遣し、見守りを兼ねた可燃ごみ出しの支援を行った。

○ 支援実績

(延件数)

エリア/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
八女	24	31	43	66	69	77	93	101	118	98	95	108	923
上陽	0	0	4	10	7	10	14	12	9	10	7	8	91
黒木	2	3	2	6	8	4	5	5	5	13	16	19	88
立花	0	0	0	0	2	4	4	4	6	7	8	13	48
矢部	0	3	4	3	3	4	5	4	4	4	3	4	41
星野	0	2	9	9	22	22	19	19	24	20	21	26	193
合計	26	39	62	94	111	121	140	145	166	152	150	178	1,384

○ 利用者登録数（案件数）

エリア/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
八女	7	9	10	15	18	20	23	26	26	28	26	28
上陽	0	0	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3
黒木	1	2	2	3	4	1	2	2	3	5	6	5
立花	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	3	3
矢部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
星野	0	1	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
合計	9	13	17	24	31	30	34	37	40	44	44	45

⑥ 地域介護予防活動支援事業（市委託事業）

ア 介護予防のための市内ふれあいサロン会場への専門指導士の派遣

感染拡大防止のため、7月より専門指導士の派遣を行った。

(ア) 健康運動指導士の派遣

(回)

区分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	11	4	11	3	4	2	35
前年度派遣数	7	4	8	4	8	6	37
比較増減	4	0	3	△1	△4	△4	△2

(イ) 歯科衛生士の派遣

(回)

区分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	2	3	1	0	2	1	9
前年度派遣数	4	2	0	1	4	0	11
比較増減	△2	1	1	△1	△2	1	△2

(ウ) 栄養士の派遣

(回)

区分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	2	2	0	2	6	0	12
前年度派遣数	5	1	0	3	4	1	14
比較増減	△3	1	0	△1	2	△1	△2

(エ) 認知症予防指導士の派遣

(回)

区分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	0	2	1	0	6	1	10
前年度派遣数	3	5	1	4	8	1	22
比較増減	△3	△3	0	△4	△2	0	△12

イ 八女市及び生活支援コーディネーターとの連携による人材育成

(ア) 地域介護予防サポーター養成講座の開催

今年度から八女市フレイルサポーター養成講座に移行し、介護予防サポーター及び地域介護予防講演会受講者の中でより実践的に活動したい人を対象にフレイルサポーター養成講座を開催した。(各支所に動画配信を行った。)

(イ) 介護予防講演会の開催

期日	内容	参加者
3月16日(水)	医師が解説!!寝たきりにならないためのポイント ～フレイル予防に取り組み健康寿命を延ばそう！！～ 【講師】医療法人社団慶仁会 川崎病院 院長 白濱 正博 氏 理学療法士 松山 裕 氏	本会場 27名 黒木3名 立花3名 上陽3名 矢部5名 星野14名

新規 ウ 地域サポート体制を基盤とした高齢者の虚弱（フレイル）予防の取り組み

(ア) 地域介護予防活動支援事業検討会議への参加

高齢者の筋力及び活力の低下への予防策について、市民の参加による地域サポート体制の基盤整備及び具体的な取り組みに関する協議を行った。

回	実施日	内容	参加者
1	4月5日(月)	フレイル対策事業の導入について	8名
2	6月8日(火)	フレイルサポーター養成について	8名
3	6月18日(金)	フレイルサポーター養成講座の具体的な内容について	8名
4	9月7日(火)	フレイルサポーター養成講座の具体的な内容について	6名
5	9月9日(木)	フレイルサポーター養成講座の具体的な内容について	6名
6	10月19日(火)	フレイルサポーター養成講座の具体的な内容について	9名
7	11月9日(火)	フレイルサポーター養成講座の具体的な内容について	9名
8	11月26日(金)	フレイル啓発事業の具体的な内容について	9名

(イ) 外部研修会への参加

八女市における高齢者の虚弱（フレイル）予防の具体的な取り組みの導入に向けて、関係者（医療法人・市担当課・社協）を対象とする研修会に参加した。

回	実施日	内容	参加者
1	7月16日(金)	フレイルチェック事業研修会（オンライン） 講師：東京大学高齢社会総合研究機構長 飯島勝矢氏	20名
2	3月15日(火)	～フレイルサポーター主体の地域フレイル予防活動～ 全国フレイルチェックの集い（オンライン）	10名

(ウ) 八女市フレイルサポーター養成講座の開催

介護予防サポーター登録者の中から同意を得られた13名を本年度の受講生とし、市介護長寿課主催により開催された「八女市フレイルサポーター養成講座」について、運営協力を行った。

回	実施日	内 容	参加者
1	9月 21日 (火)	第1回／座学（オンライン） 講師：東京大学高齢社会総合研究機構長 飯島勝矢氏 (株)麻生飯塚病院 井本俊之氏	13名
2	10月 19日 (火)	振り返り研修会 講師：慶仁会川崎病院理学療法士 松山 裕氏	8名
3	11月 9日 (火)	第2回／測定練習① 講師：(株)麻生飯塚病院 井本俊之氏他2名	12名
4	11月 16日 (火)	第2回／測定練習②／フレイルサポーター認定書交付 講師：(株)麻生飯塚病院 井本俊之氏他4名	11名

⑦ 権利擁護事業の実施

ア 権利擁護センターの運営

日常生活上の判断に不安がある方に対する相談支援をはじめ、成年後見制度等を活用し、財産管理や身上保護を中心とする権利擁護サービスを提供するセンターの運営に努めた。

(ア) 日常生活自立支援事業（八女あんしんサポート事業）の推進

- 専門員の配置 5名（前年度数 6名／比較増減△1）、生活支援員 49名（前年度数 43名／比較増減 6名）を配置し、県基幹型社協として運営した。
- 専門員連絡調整会議の開催（月1回）

利用者の情報共有化と円滑な事業運営を行うために、7月まで毎月第2水曜日に定例の会議を開催した。8月からは日常生活自立支援事業及び法人後見支援事業それぞれの連絡調整会議を統合し、新たに居住支援法人事業関係者を加えた「八女市社協権利擁護センター連絡調整会議」へ移行し、権利擁護体制と包括的支援体制の機能強化を図った。

○ 福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理の支援

契約の状況 総数 130名（前年度契約者数 125名／比較増減 5名）、内八女あんしんサポート（独自事業）契約者数 1名（前年度契約者数 1名）

◇ 認知症高齢者 (名)

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
認知症高齢者	25	0	10	4	2	3	44
前年度契約数	24	0	11	6	3	3	47
比較増減	1	0	△1	△2	△1	0	△3

◇ 知的障がい者 (名)

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
知的障がい者	23	0	3	3	1	1	31
前年度契約数	17	0	4	3	1	1	26

比較増減	6	0	△1	0	0	0	5
------	---	---	----	---	---	---	---

◇ 精神障がい者 (名)

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
精神障がい者	40	1	9	3	0	2	55
前年度契約数	38	1	9	3	0	1	52
比較増減	2	0	0	0	0	1	3

○ 新規及び解約件数の前年度比較 (名)

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
新規	22	0	2	0	0	1	25
前年度契約数	25	0	6	3	0	1	35
比較増減	△3	0	△4	△3	0	0	△10
解約	14	0	3	1	1	1	20
前年度解約数	15	0	2	0	0	0	17
比較増減	△1	0	1	1	1	1	3

○ 利用契約者への支援回数(複数) (件)

支援内容	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
生活費等の受渡し	1,507	16	467	317	30	211	2,548
各種支払い	1,417	17	542	263	94	186	2,519
生活費等を金庫保管	743	2	1	19	0	14	779
相談・調整	6	0	2	66	18	2	94
行政・福祉サービスの手続き	5	0	0	9	8	0	22
支援者会議等への出席	0	0	0	15	0	1	16
事業の問合せ	0	0	0	4	0	0	4
成年後見制度の問合わせ	0	0	0	12	0	0	12
入金(給料等)	196	2	12	7	0	2	219
通帳等一時持ち出し	0	0	14	8	2	0	24
その他	11	0	2	14	1	5	33
合計	3,885	37	1,040	734	153	421	6,270
前年度件数	2,949	16	907	444	97	245	4,658
比較増減	936	21	133	290	56	176	1,612

○ 生活支援員養成講座の開催

期日	内 容	参加者
10月29日(金)	講義「認知症の理解と支援」	10名
11月5日(金)	講義「知的・精神障がいの理解と支援」	13名
11月12日(金)	講義「生活支援員の活動」／事務説明 (※参加者のうち、生活支援員として1名が登録)	13名

○ 生活支援員との意見交換会の開催

期日	内 容	参加者
1月14日（金）	業務上抱える悩みごとや困りごと等に関する具体的な解決策等について、意見交換会を実施した。	5名
1月17日（月）		3名

○ 外部研修会の参加

期日	内 容
11月30日（火）	福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会 事例発表「八女市の利用契約者における成年後見制度移行について」
2月21日（月）	福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会 事例発表「依存症への理解と依存傾向にある利用者の支援について」

(イ) 法人後見支援事業の実施

○ 運営委員会及び審議委員会の開催

運営委員 6名、審議委員 6名からなる各委員会を設置し、審議委員会(7回)を開催した。運営委員会は感染拡大防止により開催していない。

○ 検討委員会の開催

成年後見等特別アドバイザー（弁護士）及び委員 6名からなる検討委員会(7回)を開催した。委員会では成年後見人等の受任候補の依頼を受けた際に審議委員会の議案に諮る内容の協議を行った。

○ 連絡調整会議の開催（月1回）

利用者の情報共有化と円滑な事業運営を行うために、毎月第2水曜日に定例の会議を開催した。8月からは「八女市社協権利擁護センター連絡調整会議」へ移行し、権利擁護体制と包括的支援体制の機能強化を図った。

○ 成年後見制度に基づく法定後見事業及び任意後見事業の実施

八女市地域包括支援センター等の関係機関をはじめ、親族からの成年後見制度の利用等の相談に対応した。

◇ 月別相談件数 2,020 件(前年度件数 839 件/比較増減 1,181 件) (件)

件数／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	111	136	129	138	176	116	192	181	224	185	240	192	2,020
前年度件数	26	46	66	59	44	51	79	61	107	104	101	95	839
比較増減	85	90	63	79	132	65	113	120	117	81	139	97	1,181

◇ 法定後見受任件数 16 件 (件)

類型	後見	保佐	補助	合計
認知症	8	0	0	8
知的	4	3	0	7
精神	1	2	3	6
合計	13	5	3	21
前年度件数	5	3	1	9
比較増減	8	2	2	12

- ◇ 任意後見契約締結件数 2件 (前年度件数1件/比較増減1)
- ◇ 広報啓発活動の推進

権利擁護センターのパンフレットを活用し、権利擁護センターの事業紹介をはじめ、八女市地域包括支援センターや八女市民生委員児童委員定例会へ出向き、事業周知や成年後見制度に関する啓発を行った。

期 日	訪問先
4月7日(水)	忠見校区民生委員児童委員定例会
9月9日(木)	矢部地域包括支援センター
9月9日(木)	黒木地域包括支援センター
9月16日(木)	星野地域包括支援センター
9月16日(木)	上陽地域包括支援センター
9月21日(火)	立花地域包括支援センター
11月10日(水)	黒木校区民生委員児童委員定例会

○ 研修会の開催

「暮らしと福祉の講座」の中で、成年後見制度の説明を八女市民に対して行った。

回	実施日	内 容	参加者
1	6月29日(火)	成年後見制度の説明及び実績を事例を交えて説明	14名

○ 外部研修会への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン研修に参加し担当職員の情報共有とスキル向上に努めた。

回	実施日	内 容	参加者
1	8月12日(木)	成年後見制度利用促進基礎研修(オンライン)	2名
2	11月18日(木)	成年後見制度利用促進実践研修会	1名
3	1月28日(金)	第2回八女市権利擁護勉強会	2名

○ 中核機関の運用に関する体制整備

中核機関に関する実務者協議を行い、主に次年度以降の本格的な中核機関の運用に向けて、八女市における中核機関の運用をはじめ、市長申立てに係る事例や受任者調整会議の在り方等を想定した担当者間による協議を行った。

期 日	内 容	参加者
12月7日(火)	家庭裁判所八女支部との中核機関運用に関する意見交換会	11名
12月22日(火)	成年後見制度に関する相談支援体制づくりについて	3名
1月18日(火)	成年後見制度利用啓発のための研修会開催内容等について	4名
3月3日(木)	受任者調整会議	4名
3月28日(月)	中核機関の担当者会議	5名

拡充

(ウ) 福祉資金貸付事業

低所得者世帯、高齢者及び障がい者世帯等への資金の貸付を行うとともに、借受世帯の自立更生を促進した。今年度から八女市社会福祉協議会の独自事業として実施し

ている福祉貸付金について、貸付対象者を八女市社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業、法人後見支援事業、居住支援法人事業の利用者にも広げ、成年後見制度申立てのために要する費用や民間アパート等の賃貸契約のために必要な敷金礼金等の諸費用を支払うことができない生活困窮者へ最大15万円までを上限とし、貸付を行うことができるよう拡充した。

○ 生活福祉資金貸付業務（県社協からの事務委託）

資金種類	貸付額	件 数	内訳
生活福祉資金（通常）	775,000円	3件	福祉費1件／297,000円 教育支援資金2件／478,000円
合 計	775,000円	3件	
前年度貸付金額	4,529,000円	10件	教育支援資金7件／4,052,000円 緊急小口資金2件／200,000円 福祉費1件／277,000円
比較増減	△3,754,000円	△7件	

○ 生活福祉資金（特例貸付）業務（県社協からの事務委託）

資金種類	貸付申請額	件 数	不承認額	件 数
福祉資金（緊急小口資金）	37,200,000円	193件	200,000円	1件
総合支援資金（初回）	85,500,000円	165件	7,100,000円	14件
総合支援資金（延長貸付）	29,550,000円	56件	0円	0件
総合支援資金（再貸付）	71,060,000円	133件	9,550,000円	18件
合 計	223,310,000円	547件	16,850,000円	33件
前年度貸付金額	227,040,000円	665件	8,190,000円	17件
比較増減	△3,730,000円	△118件	8,660,000円	16件

○ 生活福祉資金（特例貸付）相談件数実績内訳

(件)

資金種別	件数内訳	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	実績
福祉資金（緊急小口資金）	相談対応件数	180	0	16	16	0	0	212
	借入申込件数	172	0	13	8	0	0	193
総合支援資金（生活支援費）	相談対応件数	140	1	17	11	1	0	170
	借入申込件数	140	1	17	6	1	0	165
総合支援資金（延長貸付）	相談対応件数	50	0	4	1	0	1	56
	借入申込件数	50	0	4	1	0	1	56
総合支援資金（再貸付）	相談対応件数	117	0	13	3	0	0	133
	借入申込件数	117	0	13	3	0	0	133

○ 福祉貸付金の貸付業務

資金種類	貸付額	件 数
福祉貸付金	0円	0件
前年度貸付金額	0円	0件
比較増減	0円	0件

○ 法外援護資金貸付業務

資金種類	貸付額	件 数
法外援護資金	200,000 円	8 件
前年度貸付金額	443,000 円	12 件
比較増減	△243,000 円	△4 件

○ 委員会の開催

◇ 福祉資金貸付委員会

実施日	内 容
7月7日（水）	○法外援護資金及び福祉貸付金の貸付状況、滞納者に対する督促 状況について ○ 福祉貸付金規程変更等について

拡充

(エ) 居住支援体制整備の促進

○ 居住支援法人活動の実施（令和2年12月24日福岡県指定）

今年度は昨年度に引き続き、社協だよりやホームページをはじめ、様々な広報媒体を活用し、事業周知の徹底に努めるとともに、保証会社との加盟店契約を締結し、八女市担当部署及び市内の不動産会社を中心に、住宅確保要配慮者の入居支援に対する協力店の確保に努めながら、入居前の住宅確保要配慮者の住まい探しに係る相談支援や入居後の生活支援に係る相談支援等を行った。

◇ 入居前相談支援の活動実績

・ 住宅確保要配慮者（生活困窮者等）27人（延べ170人）

相談内容／対象	高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	子育て世帯	外国人	D/V被害者	ひとり親世帯	生保受給者	低額所得者	被災者	犯罪被害者	その他	合計
住まい	13	2	23	9		1			14	3			9	74
不動産業者・物件紹介			1	2					1					4
賃貸借契約時の立合い		2	2	8					7				1	20
必要なサービスのコデインート	1									1				2
緊急連絡先の確保									1					1
保証人の引受														
審査申込関連			1						9				2	12

一時的入居支援													
引っ越し時の家財整理、撤出・搬入支援								9				5	14
その他 (生活相談)	9	1	6	6				7	4			10	43
合 計	23	5	33	25		1		48	8			27	170

◇入居後相談支援の活動実績

・住宅確保要配慮者（生活困窮者等）9人（延べ132人）

相談内容 ／対象	高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	子育て世帯	外国人	DV被害者	ひとり親世帯	生保受給者	低額所得者	被災者	更生保護対象者	その他	合計
安否確認・緊急時対応	1		1						1					3
定期訪問									20	3				23
生活支援(買い物支援等)									5			1	6	
金銭管理、財産管理									9			1	10	
サロン等への参加									2				2	
近隣や家主間トラブル対応									6				6	
就労支援														
死後事務委任	1													1
家財処分・遺品整理	2		4											6
葬儀、納骨等	5													5
その他 (生活相談)	3								59	5		1	2	70
合 計	12		5						102	8		1	4	132

- 支援により賃貸住宅入居に至った件数（入居契約件数） 6件
- 市内不動産会社への事業周知及び協力店の確保
加盟店契約を締結した保証会社と連携し、市内の不動産会社を訪問し本会の居住支

援法人活動等に関する事業周知を行うとともに住宅確保要配慮者の積極的な入居支援に対する協力店の確保に努めた。

期日	訪問先	協力店の可否
5月10日(月)	(株)ベストハウス	交渉中
5月25日(火)	立花地所	可
6月10日(木)	橋本不動産	可
6月17日(木)	駅前不動産	交渉中
6月21日(月)	仁賀木不動産	可
6月28日(月)	田中不動産	可
6月28日(月)	駅前不動産管理システム	交渉中
7月19日(月)	(株)ヒトイエ	可
3月10日(木)	(株)池田住宅	可
3月10日(木)	桜はうす	可
3月30日(水)	大栄不動産	可

○ 広報啓発活動の推進

居住支援法人のパンフレットを作成し、居住支援法人の事業紹介をはじめ八女市地域包括支援センターや八女市民生委員児童委員定例会へ出向き、事業周知や居住支援に関する啓発を行った。

期日	訪問先
9月9日(木)	矢部地域包括支援センター
9月9日(木)	黒木地域包括支援センター
9月16日(木)	星野地域包括支援センター
9月16日(木)	上陽地域包括支援センター
9月21日(火)	立花地域包括支援センター

○ 外部会議や研修会への参加

居住支援法人の認可を受け、福岡県が主催する居住支援法人協議会や研修会へ参加し、八女の居住支援に関する現状や課題について意見交換を行った。

実施日	内 容
7月27日(火)	福岡県住宅確保要配慮者居住支援法人連絡協議会
9月17日(金)	2021居住支援法人研修会(オンライン研修)①
10月15日(金)	2021居住支援法人研修会(オンライン研修)②
11月10日(水)	2021居住支援法人研修会(オンライン研修)③
12月16日(木)	2021居住支援法人研修会(オンライン研修)④
2月5日(土)	令和3年度 全国居住支援法人協議会研修(オンライン研修)
2月16日(水)	「孤立させない刑務所出所者等の支援」研修会(オンライン研修)

○ 研修会開催にともなう動画収録への協力

福岡県社会福祉協議会が主催する生活困窮者支援事業研修会の開催に伴い、本会の居住支援法人活動の取り組み等について事例発表を行った。発表内容については、動

画収録後に期間限定による動画配信が行われた。

実施日	内 容
3月14日（月）	事例発表／動画収録 「八女市社会福祉協議会における居住支援の取り組み」
3月25日（金） ～5月6日（金）	動画配信

新規

イ 成年後見制度による中核機関の受託及び運営

市担当課の要請により、市長申立てに係る事例について、受任者調整会議を想定した担当者間（市包括支援係・社協・一般社団法人）による協議を行った（※10月1日より受託予定）。

期 日	内 容	参加者
9月14日(火)	受任者調整会議の実施	4名

⑧ 地域公益事業の推進

ア 社会福祉法人連絡会との連携による社会貢献事業の推進

八女市内24の社会福祉法人による情報交換及び共有を図る場と位置づけているが、今年度は感染拡大防止のため、役員会をはじめ施設見学会や総会は実施していない。

イ ふくおかライフレスキュー事業への参加及び支援サポーターの配置

(ア) 支援サポーターの配置

制度対応できない課題に対応するため、社会福祉法人の専門性を活かし、生活困窮者等に対する相談や支援事業を行う「ふくおかライフレスキュー事業」の主たる担い手であるサポーター3名を配置した。

(イ) ライフレスキュー部会による協働事業の推進

社会福祉法人の「公益性」「透明性」「公平性」を具体化する活動として、市福祉事務所や関係機関からの相談を通じて、ごみ屋敷への支援（清掃作業）活動を下記のとおり実施した。

実施日	会議及び事業	内 容
4月20日(火)	協働事業	ごみ屋敷清掃（市介護長寿課1名 包括2名 社協4名 介護事業者1名 民生委員1名）
7月15日(木)	協働事業	ごみ屋敷清掃（社協4名）
11月22日（月）	協働事業	ごみ屋敷清掃（福祉施設2名 介護事業者1名 社協3名）
11月25日（木）	協働事業	ごみ屋敷清掃（福祉施設3名 介護事業者1名 社協3名）

⑨ 小地域福祉活動の推進

ア 小地域福祉活動の推進

(ア) 民生委員児童委員等との連携による福祉活動の推進

福祉部会及び福祉委員の設置等について、民生委員児童委員の協力を得ながら小地域福祉活動を推進した。

(イ) 民生委員児童委員連絡協議会及び主任児童委員部会定例会への参加

- 民生委員児童委員連絡協議会校区会長会／毎月第1水曜日(5月～6月、9月中止)
- 民生委員児童委員連絡協議会校区定例会／毎月1回(5月～6月、9月中止)
- 主任児童委員部会定例会／隔月第3金曜日(5月、9月、1月中止)

(ウ) ふれあいサロン等地域の様々な場での情報提供

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に配慮したサロン運営等の情報提供を行った。

(エ) 地区福祉のつどいの推進

- 各地区福祉のつどい、福祉大会、福祉まつりへの参加協力 (回)

圏域	まち協設置数	申請数	前年度申請数	比較増減
八女	8	1	1	0
上陽	1	0	0	0
黒木	6	2	2	0
立花	4	0	1	△1
矢部	1	0	0	0
星野	1	0	0	0
合計	21	3	4	△1

イ 住民参加による地域福祉活動の基礎組織や担い手づくり

(ア) 「福祉部会」(まちづくり団体等) (箇所)

圏域	まち協設置数	福祉部会設置数	前年度設置数	比較増減
八女	8	3	3	0
上陽	1	1	1	0
黒木	6	6	6	0
立花	4	1	2	△1
矢部	1	1	1	0
星野	1	1	1	0
合計	21	13	14	△1

(イ) 「福祉ネットワーク推進委員会」 (箇所)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	11	11	0
上陽	3	3	0
黒木	40	39	1
立花	12	13	△1
矢部	0	0	0
星野	3	3	0
合計	69	69	0

(ウ) 「福祉委員」(行政区等) (人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	12	8	4
上陽	31	31	0

黒木	91	91	0
立花	42	56	△14
矢部	6	6	0
星野	17	17	0
合計	199	209	△10

○ 福祉委員研修会の開催 12回 (前年度4回実施／比較増減8回)

実施日	実施地区	内 容	参加者
5月28日(金)		辺春4区	・行政区長9名
5月30日(日)		辺春5区	・区長、会計17名
6月 3日(木)	立花	光友2区	・民生委員児童委員 11名
6月 29日(火)		北山1区	・福祉委員32名
7月 2日(金)		兼松団地	
7月 10日(土)		北山2区	
7月 30日(金)		北山3区	
8月 6日(金)		光友5区	
8月 30日(月)		北山4区	
		◎感染拡大防止のため、全体研修ではなく、各福祉ネットワーク推進委員会に出向いて福祉委員研修会を実施した。	
6月 2日(水)	矢部	◎福祉委員委嘱状交付し「福祉委員の手引き」を配布	・福祉委員6名
6月 9日(水)	星野	◎福祉委員委嘱状交付(4名) ◎懇談会 区長・民生委員児童委員・福祉委員三者懇談会	・行政区長8名 ・民生委員児童委員 17名 ・福祉委員13名
7月 26日(月)	黒木 矢部	◎黒木町・矢部村合同福祉委員研修会 ◎福祉委員委嘱状を交付	・黒木福祉委員91名 ・矢部福祉委員6名

(工)「見守り連絡員」(隣近所等)

(人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	57	57	0
上陽	133	129	4
黒木	272	270	2
立花	142	150	△8
矢部	9	9	0
星野	41	0	41
合計	654	615	39

ウ 地域に出向いた相談支援や情報提供

福祉部会や福祉ネットワーク推進委員会等の場を活用し地域課題の把握に努めた。

エ 要援護者等の個人情報に配慮しながら進める見守り活動等への支援

民生委員児童委員連絡協議会校区会長会及び定例会をはじめ、福祉部会や福祉ネットワーク推進委員会等の地域の集まりの中で、情報の共有やその範囲等を確認しながら日常的な地域福祉活動を支援した。特に上半期は感染拡大防止により地域の福祉活動の自粛が相次ぎ、コロナ禍における地域福祉活動の進め方等について協議した。

⑩ 社協会費（会員）・寄附金等

ア 社協会費

種類	今年度		前年度		増減	
住民会費	19,144 件	3,828,800 円	19,247 件	3,849,300 円	△103 件	△20,500 円
特別会費	24 件	75,000 円	25 件	78,000 円	△1 件	△3,000 円
合計	19,168 件	3,903,800 円	19,272 件	3,927,300 円	△104 件	△23,500 円

イ 寄附金

種類	今年度		前年度		増減	
香典返し寄附	308 件	9,162,000 円	312 件	8,706,000 円	△4 件	456,000 円
一般寄附	27 件	1,022,877 円	28 件	2,224,944 円	△1 件	△1,202,067 円
合計	335 件	10,184,877 円	340 件	10,930,944 円	△5 件	△746,067 円

⑪ 住民参加による地域福祉事業の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア ふれあいサロン活動の支援

（ア）ふれあいサロン支援者養成講座の開催

期間	会場	回数	参加者	内 容
8/24～9/24	八女	3	34 名	①新型コロナウイルス感染予防、口腔ケア
8/24～9/28	立花	3	12 名	②ガンバルーンボール活用、健康体操
8/27～9/22	上陽	3	14 名	③楽しくできるレクリエーション
8/27～9/22	星野	3	50 名	
9/3～9/28	黒木	3	26 名	
9/3～9/24	矢部	3	33 名	
合計		18 回	169 名	
前年度		0 回	0 名	
比較増減		18 回	169 名	

（イ）ふれあいサロン運営費の助成及び立ち上げの支援

(箇所)

圏域	行政区数	設置数	前年度設置数	比較増減	R3 新規
八女	87	34	41	△7	0
上陽	10	12	13	△1	0
黒木	50	53	54	△1	0
立花	25	17	19	△2	0
矢部	6	13	13	0	0

星野	8	8	9	△1	0
合計	186	137	149	△12	0

(ウ) 地区ふれあいサロン連絡会議及び交流会の開催

期 間	会 場	参 加 者
3月17日(木)～3月25日(金)	八女	35名
3月3日(木)	上陽	12名
3月16日(水)	星野	11名
3月22日(火)	黒木	36名
3月24日(木)	立花	17名

(エ) 生活支援コーディネーターとの連携による地域課題及び支援ニーズの把握、地域人材・資源の発掘

コミュニティソーシャルワーカー（小地域福祉活動推進担当）との連携により実施したサロンアセスメントに基づき、表面化された「サロンへ来ない人」に対する課題に対して、個別課題と地域課題の双方から地域支援体制を作っていくことを確認した。特に拡大防止のため、地域福祉活動の自粛が相次ぐ状況下における高齢者等のひきこもりによる身体機能の虚弱化の予防及び精神面に配慮した見守り活動の方法等について協議した。

(オ) 観察研修の受け入れ

久留米大学法学部より八女市における買い物弱者対策についてのヒアリング調査を受け入れ、立花町辺春地区の現状を報告した。また、実際に現地においてフィールドワークを行い、地域住民との意見交換会を行った。

期 日	内 容	参 加 者
7月7日(水)	久留米大学より買い物弱者対策ヒアリング	4名
10月18日(月)	久留米大学より辺春地区フィールドワーク	7名

⑫ 移動及び外出支援の推進

ア デマンド交通運営事業（八女市予約型乗り合いタクシー「ふる里タクシー」）の実施
(市委託事業)

- (ア) 登録手続き及びオペレーター業務
- (イ) ふる里タクシーに関する情報提供

イ 福祉有償運送事業の実施

運転ボランティアの確保及び育成

(ア) 支援者数（ボランティア）

- 黒木支所 19名（前年度数 19名／比較増減 0名）
- 矢部支所 8名（前年度数 8名／比較増減 0名）

(イ) 利用登録者数

- 黒木支所 44名（前年度数 43名／比較増減 1名）
- 矢部支所 35名（前年度数 30名／比較増減 5名）

事業名	実施圏域	年度別	実施日数	延利用者数
福祉有償運送	黒木支所	本年度	240 日	518 名
		前年度数	215 日	430 名
		比較増減	25 日	88 名
	矢部支所	本年度	107 日	107 名
		前年度数	112 日	115 名
		比較増減	△5 日	△8 名

(ウ) 地域福祉型福祉サービスに対する支援

特定非営利活動法人上陽ライフネットワークが行う福祉有償運送事業の協力支援を行った。

⑬ 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業（市委託事業）

ア 地域力強化推進事業

(ア) 福祉生活支援室（ほっと館やめ）の設置運営

本所（旧八女市+立花）及び上陽支所（上陽+黒木+矢部+星野）に生活困窮者支援事業等の拠点施設の設置として、支援員5名（旧八女3名／上陽2名）を配置した。

支援室内にはフードバンクとフリースペースを確保し、生活困窮者やひきこもり、外国人等の相談支援を行った。

○ ひきこもり支援人数（実数） 本所：13名 ／ 上陽：6名

○ 不登校支援人数（実数） 本所：3名 ／ 上陽：1名

ア) 来所者・訪問者数

(件)

種類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
不登校	80	3	0	7	1	4	0	0	81	14
ひきこもり	176	53	1	8	4	7	0	0	181	68
障がい	924	40	2	21	23	39	0	0	949	100
高齢者	85	27	0	15	0	16	0	0	85	58
生活困窮	519	34	1	27	17	18	0	1	537	80
相談機関	315	47	0	9	24	60	0	0	339	116
一般	289	3	0	1	1	3	0	0	290	7
外国人	10	0	0	0	1	0	0	0	11	0
合計	2,398	207	4	88	71	147	0	1	2,473	443
前年度件数	1,518	349	20	85	84	218	2	14	1,624	666
比較増減	880	△142	△16	3	△13	△71	△2	△13	849	△223

イ) 相談者

(件)

種類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
本人	249	66	7	31	40	35	0	3	296	135
家族	10	16	0	6	3	10	0	0	13	32
関係機関	16	44	0	31	22	68	0	0	38	143

主任児童委員	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
民生委員	0	3	0	0	0	1	0	0	0	4
行政区長	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
知人	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
住民	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
外国人	5	0	0	0	3	0	0	0	8	0
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合 計	283	132	7	69	68	115	0	3	358	319
前年度件数	225	210	23	79	95	119	2	9	345	417
比較増減	58	△78	△16	△10	△27	△4	△2	△6	13	△98

ウ) 相談経路

(件)

種 類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
本人	254	52	7	12	43	35	0	3	304	102
家族	10	19	0	8	4	10	0	0	14	37
関係機関	17	54	0	49	21	68	0	0	38	171
主任児童委員	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
民生委員	0	4	0	1	0	1	0	0	0	6
行政区長	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
知人	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
住民	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合 計	283	133	7	71	68	115	0	3	358	322
前年度件数	225	202	23	77	95	130	2	10	345	419
比較増減	58	△69	△16	△6	△27	△15	△2	△7	13	△97

エ) 相談内容

(件)

種 類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
介護	0	5	0	4	0	4	0	0	0	13
障がい	1	10	0	5	1	13	0	3	2	31
ひきこもり(一般)	29	20	2	2	4	3	0	0	35	25
家族問題	7	6	0	6	0	10	0	0	7	22
健康問題	24	3	0	8	5	7	0	0	29	18
就労・雇用関係	34	3	0	0	3	3	0	0	37	6
生活全般	38		0		5		0		43	
子 育 て	不登校	0	3	0	6	2	5	0	2	14
	ひきこもり (高校まで)	0	2	0	1	1	1	0	1	4

	養育支援	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	その他	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0
経 済 困 窮	フード バンク	83	40	2	13	10	23	0	0	95	76
	家計相談	27	4	0	0	5	3	0	0	32	7
	家計相談 (被保護者)	5		2		2		0		9	
	資金貸付	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2
	就労	0	14	0	8	0	13	0	0	0	35
	年金	0	2	0	1	0	1	0	0	0	4
	その他	15	7	0	6	10	9	0	0	25	22
	その他(上記以外)	24	12	0	12	8	16	0	0	32	40
	合 計	295	133	6	72	57	111	0	3	358	319
	前年度件数	241	214	34	78	68	118	2	6	345	416
	比較増減	54	△81	△28	△6	△11	△7	△2	△3	13	△97

才) 参加支援

- 八女作業所との連携による、ひきこもり・精神障がい者等への生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、ガーベラのラッピング及び販売協力支援を行った。(※毎週火曜日実施)
- ひきこもり者への生活(家事)支援として、フードバンクの食品を活用した料理教室を令和3年4~令和4年3月に実施した。(延べ参加者数89名)
(5、9、12月に関しては感染拡大防止のため、未実施)
- ひきこもり者への支援として、6月から株式会社マルミツサンヨーの協力をいただき、みかんの皮むき作業を再実施した。8月25日からは堀永殖産株式会社の協力をいただき、栗の皮むき作業に取り組み、利用者の作業実績に応じて、活動費を支給し、参加促進に努めた。12月より花火作りの作業も追加となった。
- ひきこもりや不登校で外に出る機会がない方や何かきっかけがほしい方への支援として、地元の方の協力のもと、「ほっとフレンドふあーむ」を開設し、ジャガイモの苗付け等の畑作業を通して参加支援を実施した。収穫した野菜は民間福祉事業所等の協力を得て、店舗に出店させていただき、売り上げの一部を作業に携わっていただいた利用者へ活動費として支給し、参加促進に努めた。

番号	協力事業所
1	ふくふく八百屋(龍ヶ原)
2	八女市総合保健福祉センターかがやき(立花)
3	ほたると石橋の館(上陽)

カ) 生活困難者支援連携会議の開催(月1回)

毎月第2月曜日に福祉生活支援室相談員及びコミュニティソーシャルワーカー、

生活支援コーディネーターに加え、市担当課及びグリーンコープ等関係機関の専門スタッフによる定例会議を行い、個別課題から地域課題の把握に努め、制度の狭間におかれている方々の支援等について協議した。

キ) 広報啓発活動の推進

社協だよりに「ほっと館やめ」の掲載欄を設けて、活動内容等の情報発信に努めた。広報八女 8月1日号及び3月15日号に「ほっと館やめ」についての記事を掲載していただいた。

ク) 実務者研修会及び会議への参加

参加日	研修会／会議名	参加者
9月26日（日）	ひきこもり支援セミナー（オンライン）	4名
10月23日（土）	（内部研修） 精神対話士による相談援助技術向上研修会	6名
10月26日（火）	福岡県ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議	1名
10月29日（金）	筑後若者サポートステーション連携会議	1名

（イ）フードバンク事業の実施

市民への食品募集等、市民ベースのフードバンク事業の展開及び提供いただいたお菓子等の食品をコロナ禍により急増する生活困窮世帯へ提供して、支援の拡充に努めた。今年度は感染拡大の影響を受け、家計がひっ迫し、日々の生活に困窮されている方を支援するため、八女市から「新型コロナウイルス感染症緊急支援事業」への協力要請により、日用品（生理用品含む）や食料品などの生活必需品をフードバンク事業を通して提供した。生理用品については、お求めの際に提示される「専用カード」提出窓口を本所・各支所に設置した。

他にも、県内初の試みとしてエフコープ生協との連携により、生協会員を対象にしたフードドライブを実施する等、フードバンク事業の充実に努めるとともに、フードバンク事業の展開により、教育関係機関及び市担当課との連携強化につながり、制度の狭間におかれている方々の相談支援を強化することができた。

10月18日（月）からは農産物直売所「よらん野」からフードロス生鮮食品（野菜）の寄附をいただき、子ども食堂やひとり親世帯をはじめ、生活福祉資金特例貸付の相談者等に対し配布した。（よらん野からの寄附については、八女市に加え、筑後市、広川町にも社会福祉協議会を通じて寄附が行われた。）

ア) 食品寄附

（件）

種類	来所		訪問		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
企業	3	0	24	0	27	0
団体	4	0	0	20	4	20
個人	66	4	0	0	66	4
合計	73	4	24	20	97	24
前年度件数	58	5	27	22	85	27
比較増減	15	△1	△3	△2	12	△3

イ) 食品配布 (件)

種類	来所		訪問		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
個人世帯	228	68	5	16	233	84
子ども食堂	33	1	1	0	34	1
合計	261	69	6	16	267	85
前年度件数	212	81	3	15	215	96
比較増減	49	12	3	1	52	△11

ウ) 子ども食堂への支援

名 称	支援内容
チャイルドサポートネットワーク	①福岡八女農業協同組合や市民、八女市内の企業より提供いただいた米や食材等を各子ども食堂へ配布
子ども食堂たしばな	
子ども食堂かたらんね	
黒木子ども食堂いこいの会	②ゆめタウン八女と連携し、消費者が賞味期限の迫った値下げ商品を購入し、店内に提示している「ビッグチャレンジシート」にシールを貼ってもらうことで、1枚につき1円を子ども食堂へ寄附される仕組みによる運営支援を行った。

エ) 食品寄贈に係る協力団体及び覚書取り交し団体・内容 (※掲載許可団体のみ)

団体名	内 容
エフコープ生協	フードドライブによる食品寄贈 (随時)
株式会社ローソン	棚卸残商品の寄贈 (随時)
一般社団法人日本非常食推進機構	災害対策用備蓄物資の有効活用の協力に関する覚書締結
株式会社セブンイレブン	店舗閉店時の残商品の寄贈 7月26日(月)八幡中央町店
NPO法人フードバンク福岡	フードバンク福岡所有の食品の譲渡 (毎月第1・第3金曜日)

オ) 生鮮食品ロス対応体制構築指針検討会への参加

福岡県の要請により、「生鮮食品ロス対応体制構築指針検討会」へ委員として参加するとともに、指針策定にあたり体制構築に必要な課題及び具体的内容について協議した。

期 日	内 容
9月9日(木)	(リモート会議) 先進地事例として八女市のフードバンク事業について事例発表
3月23日(水)	(リモート会議) 福岡県生鮮食品ロス削減対応の手引き案について最終協議

(ウ) 学習支援活動の支援

感染拡大防止のため、子ども食堂が実施している学習支援活動に対する八女市内の高校生等に学習支援ボランティアのコーディネートは行っていないが、フリースペース利用者の不登校児童に対する学習支援を行った。

(エ) 不登校・ひきこもりに関する相談支援の実施

家族会及び精神対話士等との連携による個別支援と居場所づくりの確保による社会参加の促進に努めた。

- 不登校・ひきこもり親（家族）の会「笑福（えふ）クラブ親の会」が主催する定例会へ参加し、当事者や家族が抱える生活課題の把握に努めた。（毎月第2土曜日：13:30～15:30）（5、6、9月に関しては感染拡大防止のため、未実施）
- 精神対話士2名による相談支援実施。（※毎月第2・第4木曜日：13:30～15:30）延20件（8月に関しては感染拡大防止のため、未実施）

(オ) 外国人支援団体との連携による相談支援

外国人支援団体及び関係機関との連携により、八女市に居住する外国人の生活課題等の把握に努め、外国語版の相談窓口のチラシを配布する等、広報活動を強化しながら個別支援の充実に努めた。（相談対応実績 延8件）

(カ) 農福連携による障がい者等の社会参加の推進（市委託事業）

- 農福連携のコーディネート
福岡八女農業協同組合（なす広域選果場）から依頼された作業（なすの選果等）とそれを受託する八女市内就労継続支援事業所（5事業所）との需給調整を行った。
- 参加事業所
 - ・就労継続支援A型事業所 さんふらわあ広川
 - ・障がい者支援センター こころ
 - ・就労継続支援B型事業所 八女作業所
 - ・就労継続支援B型事業所 そらいろ
 - ・多機能型事業所 ワークスペース蓮

(キ) 教育関係機関及び相談支援機関との連携

八女市適応指導教室「あしたば」と連携し、「あしたば」に行くことができない生徒のフリースペースへの受入や「あしたば」が実施する社会参加の行事に協力し、相談支援体制を強化した。

実施日	内容	場所
11月8日（月）	あしたば利用生徒によるほっと館やめ見学受入	ほっと館やめ
11月9日（火）	あしたば利用生徒によるガーベラ作業体験	あしたば

（ク）家計改善支援事業（市委託事業／生活困窮者自立支援事業）

今年度から事業対象枠を拡大し、新たに生活保護費受給者も対象に、相談者が自ら家計を管理できるよう相談支援及び関係機関へのつなぎを行った。

- 利用契約者数 5件（前年度利用契約者数2件/比較増減3件）**内生保受給者1件**
(利用者内訳：本所4件 立花1件)

○ 業務実績

- ・初回面談 9件（利用者内訳：本所7件 立花1件 上陽1件／内契約者数5件）
- ・家計支援計画作成 5件 →（内契約5件）
- ・契約に係る自立相談支援調整会議への参加 3件
- ・契約に至らず相談支援（見守り）を必要とする要支援者 4件
(利用者内訳：本所2件 上陽2件)

○ 実務者研修会への参加

- ・家計改善支援事業従事者研修（動画受講）1名参加

イ 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

複合的な課題を抱える個別課題に対して、分野を超えた専門性、利便性の高い相談支援機能を発揮するため、日常生活圏域（旧市町村）に1名ずつ、包括的な相談支援体制を構築する人材を配置した。

(ア) 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）の配置 6名

(イ) 相談支援包括化推進員会議の実施／毎月第3水曜日

新規 (ウ) 子供の居場所づくり支援及び生活困窮児童家庭等の把握【⑩-ア-（ア）～（エ）に記載】

新規⑪ 子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市委託事業）

ア コーディネート機能による子供の居場所づくり支援

(ア) 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）の機能に子供の居場所づくりコーディネート機能を追加。子ども食堂実施団体等への相談支援及び開設支援の実施及びほっと館やめ担当の相談支援包括化推進員（本所・上陽支所まるごとサポーター）による統括

(イ) 子ども食堂等団体の連携会議及び情報共有

実施日	内 容	参加者数
7月30日（金）	市内子ども食堂運営状況報告及び意見交換会	4名
11月29日（月）	①研修／講師：筑紫女学園大学教授 大西 良氏 ②市内子ども食堂運営状況報告及び意見交換会	6名
3月25日（金）	①研修／講師：筑紫女学園大学教授 大西 良氏 ②市内子ども食堂運営状況報告及び意見交換会	9名

(ウ) 子ども食堂への運営支援

○ 大型スーパーとの連携による子ども食堂運営資金確保のための支援

ゆめタウン八女が食品ロス削減活動の一環として取り組む「もぐもぐチャレンジ」と連携し、消費者が賞味期限の迫った値下げ商品を購入し、店内に提示している「ビッグチャレンジシート」にシールを貼ってもらうことで、1枚につき1円を子ども食堂へ寄附される仕組みづくりを活用し、寄附金による運営資金確保のための支援を開始した。

寄附日	寄附団体
2月12日（土）	チャイルドサポートネットワーク

○ 子ども食堂イベントへの支援

実施日	内 容	主 催
8月21日（土）	一風堂キッチンカー巡回	チャイルドサポートネットワーク
1月15日（土）	餃子の王将弁当配布	チャイルドサポートネットワーク

(エ) 関係機関連携会議及び資金貸付業務やほっと館業務から得られた生活困窮児童家庭等の把握と関係機関へのつなぎ

(オ) 地域モデルとなる、子どもの居場所や物資支援事業の実施

○ 子ども宅食支援

コロナ禍における生活福祉資金特例貸付やフードバンク事業等で見えてきた、子どものいる生活困窮世帯等を対象に、ほっと館やめでの料理教室や市内の子ども食堂と連携し、八女地区においては11月6日（土）から子ども食堂が開催される毎週土曜日、黒木地区においては2月19日（土）から毎月1回、宅配弁当をつくっていただき、社協職員が訪問し受け渡しを行った。宅食支援を通じて、子どもの見守りや必要な支援につながっていない子どものいる世帯とのつながりづくりを行った。

◆ 子ども食堂との連携による宅食支援実績

- ・八女地区 ／ 延べ118食
- ・黒木地区 ／ 延べ19食

◆ ほっと館やめによる宅食支援実績 ／ 129食

○ 子どもの居場所「にっこり広場」の開催

上陽地区において、1月11日から3月22日まで毎週火曜日の放課後に安心安全に過ごすための居場所として学習スペースを設け、見守りを行った。

- ・上陽地区 ／ 実施日数11日／利用者数延べ42人／1日平均3.8人

(カ) 外部研修会への参加

感染拡大防止のため、オンライン研修に参加し担当職員の情報共有とスキル向上に努めた。

回	実施日	内 容	参加者
1	8月10日（火）	ふくおか子ども食堂ネットワークシンポジウム	3名
2	11月27日（土）	子ども宅食の導入と実践セミナー（オンライン）	3名

⑯ 災害ボランティアセンターの基盤整備

ア 災害時相互協力協定団体との連携及び連絡会の開催

災害時相互協力協定に基づき、災害時に災害ボランティア活動等の被災者支援活動を協力して行うために、「八女ライオンズクラブ」「黒木ライオンズクラブ」「八女青年会議所」「特定非営利活動法人がんばりよるよ星野村」「特定非営利活動法人山村塾」と災害時の協力体制づくり及び連携方法等を確認する意見交換会を行った。

実施日	内 容	参加者
6月9日（水）	◎意見交換	6名

	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体間で連携できる支援内容及び連絡体制の確認 ・感染拡大防止に配慮した災害支援活動について 	
--	--	--

イ 災害ボランティアセンター運営マニュアルの活用

令和2年3月に改訂版を作成し、令和3年8月豪雨災害では、初期対応や様式等のマニュアルを活用した。

ウ 令和3年8月豪雨災害における八女市内での被災支援

8月12日（木）からの大雨により発生した豪雨災害による被災世帯に対し、災害ごみ出し等の被災地支援活動を行った。

実施日	活動地区	延人員	主な活動内容
8月18日（水）	山下地区（立花）	8人	ニーズ調査、マッチング、災害ごみ出し、家財出し等

エ 外部研修会への参加

感染拡大防止のため、オンライン研修に参加し担当職員の情報共有とスキル向上に努めた。

回	実施日	内 容	参加者
1	12月13日（火）	第1回災害ケースマネジメントキャラバン	1名

オ 災害ボランティア事前登録制の運用

Googleフォームを活用して、事前登録フォームを作成した。登録フォームはホームページ上に掲載し、パソコンや携帯電話からの申請を可能とした。

◇事前登録者数 2名

⑯ 福祉教育活動の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア 暮らしと福祉の講座の開催

今年度は本人や家族が万が一の場合に備えて死後事務等、暮らしに役立つ情報を提供することをはじめ、身近な生活課題への気づきを目的に一般市民を対象に開催した。

実施日	内 容	参加者
6月15日（火）	◎講義 内容「遺言について」 講師 久留米公証役場公証人 村上 満男 氏	17人
6月22日（火）	◎講義 内容「孤独死について」 講師 九州大谷短期大学福祉学科 講師 中島 航 氏	14人
6月29日（火）	◎講義 内容「法人後見支援事業・日常生活自立支援事業について」 講師 八女市社会福祉協議会担当職員	14人

○ デジタルシニア講座「はじめてのスマートフォン教室」（黒木支所）

小地域福祉活動を担うリーダー等を対象にスマートフォン等を活用できる人材を養

成し情報収集や連絡ツール等効果的な利用を促進するために開催した。

実施日	内 容	参加者
11月5日（金）	内容「基本動作編」	9人
11月12日（金）	内容「インターネット編」	9人
11月19日（金）	内容「アプリ・マップ（基本編）」	7人
11月26日（金）	内容「アプリ・マップ（応用編）」	7人

○ 災害から考える地域づくり講演会（立花支所）

地域のつながりや防災活動の組織化等の事例をふまえ、日頃から身近な圏域での地域のつながりや住民主体の福祉活動の必要性を学ぶことを目的に開催した。

実施日	内 容	参加者
12月13日（月）	災害対策も含めた地域づくり ～ 集落を維持するための再構築～ 北山地域振興会議会長 甲斐田 照明 氏	18人

イ 福祉教育教材「ともに生きる」の活用促進（前年度配布数 574 冊／比較増減△42 冊）

市内の小学校 3 年生を対象とし、532 冊を配布した。

ウ 福祉体験学習・講座の支援（小・中・高等学校等）

(ア) 福祉体験学習・講座への協力（全 19 件）（前年度 13 件／比較増減 6 件）

実施日	学校名	内 容
5月31日（月）	八幡小学校	車椅子体験
6月7日（月）	上妻小学校	アイマスク体験
6月28日（月）	上妻小学校	車椅子体験
7月14日（水）	立花小学校	車椅子体験
8月31日（火）	立花小学校	聴覚障がい者との交流
9月17日（金）	上陽北汭学園	聴覚障がい者との交流
10月26日（火）	福島小学校	車椅子体験
10月28日（木）	福島小学校	聴覚障がい者との交流
11月2日（火）	福島小学校	車椅子体験
12月14日（火）	上陽北汭学園	車椅子体験、高齢者疑似体験
12月16日（木）	忠見小学校	車椅子体験
1月19日（水）	三河小学校	車椅子体験
1月27日（木）	三河小学校	聴覚障がい者との交流
2月17日（木）	長峰小学校	車椅子体験
2月28日（月）	忠見小学校	聴覚障がい者との交流
3月3日（木）	輝翔館中等教育学校	認知症サポーター養成講座
3月8日（火）	長峰小学校	聴覚障がい者との交流
3月15日（火）	川崎小学校	聴覚障がい者との交流
3月22日（火）	黒木小学校	車椅子体験

⑪ 当事者団体の組織化と活動の活性化

ア 在宅介護者の会活動への協力（ふれあいのまちづくり事業）

（ア）家族の介護について考える講座の開催（0回）（前年度0回実施/比較増減0回）

感染拡大防止のため、会員同士の交流会を7月29日（木）に地域福祉センター（上陽町）にて行った。

イ 不登校・ひきこもり親（家族）の会活動への協力

不登校・ひきこもり親の会が実施するつどいの支援をはじめ、電話や来所等による不登校やひきこもりに関する相談に応じ、精神対話士や適切な支援機関へつなぐ等、ひきこもり支援を推進した。

⑫ 各福祉事業（団体）の活動支援

ア 高齢者福祉事業の推進

（ア）老人クラブ活動への協力支援

イ 障がい者福祉事業の推進

（ア）身体障害者福祉協会への協力支援

（イ）福祉作業所への協力支援

（ウ）視覚障害者福祉協会活動への協力支援

（エ）聴覚しうがい者協会への協力支援

（オ）精神障害者家族会への協力支援

（カ）当事者団体等への協力支援

ウ 母子寡婦福祉事業の推進

（ア）母子寡婦福祉会活動への協力支援

（イ）母子・父子ふれあい事業への協力支援

エ 青少年健全育成事業や児童福祉活動への協力

（ア）子ども会事業への協力支援

（イ）青少年健全育成事業への協力

オ その他の福祉活動への協力支援

（ア）保護司会への活動支援

（イ）遺族連合会活動への協力

⑬ 八女市合同金婚式事業の実施（市委託事業）

結婚50周年を迎えた八女市内に居住の方を対象に今年度は感染拡大防止のため、会場を2カ所に分散して開催。

実施日	会場	参加者	前年度	比較増減
11月22日(月)	ガーデンホール矢部川城	35組	69組	△19組
	くつろぎの森グリーンピア八女	15組		
	合 計	50組		

㉚ 世代間交流事業の実施

矢部地区（事業実施場所）老人クラブ会員をはじめ、矢部保育園児及び矢部清流学園1・2年生、地域住民、特養入所者を交えての世代間交流事業「ふれあい田んぼ」を実施。

実施日	内 容	参加者
6月11日(金)	田植え	感染拡大防止のため委託農家で実施した。
10月12日(火)	稲刈り	48名

㉛ ボランティアセンター活動推進事業

ア 広報啓発活動の充実

やめ社協だよりの中で、ボランティアセンターに関する内容を掲載した。

イ ボランティアセンターの運営強化

専従ボランティアコーディネーターの配置 1名

ウ ボランティアの育成

(ア) 点訳活動推進の支援

(イ) 手話活動推進の支援

(ウ) 要約筆記ボランティア活動への支援

(エ) 音訳ボランティア活動への支援

(オ) 配食サービスボランティア活動への支援

(カ) 八女市ふれあいサロン支援者の会への支援

(キ) ふれあいサロン地域支援団体への支援

(ク) 生きがいデイサービスボランティア活動への支援

(ケ) 倾聴ボランティア活動への支援

(コ) ボランティア連絡協議会活動への支援

エ ボランティア登録の推進とボランティア保険の加入促進

社協ボランティアセンターの登録者に対し、ボランティア保険の加入促進と助成を行った。

(ア) ボランティア登録者数

区分	個人	団体	総数
八女	1	28	216名
上陽	1	4	44名
黒木	1	11	130名
立花	1	0	1名
矢部	0	1	11名
星野	0	2	83名
市外	1	0	1名
合計	5名	46団体	486名
前年度数	5名	46団体	485名
比較増減	0	0	1

オ ボランティアコーディネート機能の強化

(ア) ボランティア活動についての相談、斡旋

- ボランティアの派遣調整件数 123 件（前年度件数 129 件／比較増減△6 件）
ふれあいサロンへのボランティア派遣を中心とした需給調整をはじめ、ボランティア活動を希望する人等への対応を随時実施した。
- (イ) 福祉活動に関するボランティア活動団体の登録整備
現在活動している団体の紹介をはじめ、登録の見える化を行うため、ボランティアセンターに登録している団体の更新を行った。

力 各種ボランティア講座等の開催

- (ア) 傾聴ボランティア養成講座の開催
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民を対象にした養成講座は行っていない。
- (イ) 外出支援ボランティアの確保
福祉有償運送事業の運転ボランティアを確保し、移動困難者への支援体制づくりを進めた。

㉗ その他の事務・事業部門

ア 福岡県共同募金会八女市支会の運営

- (ア) 八女市支会理事会年 2 回・配分委員会年 2 回の開催
 - 第 1 回配分委員会 6 月 4 日（金）開催
 - 第 1 回理事会 書面表決にて開催
 - 第 2 回配分委員会 2 月 4 日（金）開催
 - 第 2 回理事会 書面表決にて開催
- (イ) 共同募金運動の実施
 - 各種募金活動の実施
戸別募金、資材募金、法人募金、イベント募金、自動販売機による募金を実施。
街頭募金については新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み未実施。
 - 募金推進及び募金運動啓発のための八女市オリジナル事業の実施
10 月 1 日から、福岡県共同募金会八女市支会の独自事業として、八女市内の小・中・高等学校、障がい者支援施設に標語及びイラストを募集し、8 月末までに作品 635 点の応募があった。
 - 6 月 29 日（火） 校長会にて事業の説明と依頼を行った。
 - 8 月 30 日（月） 1 次審査の実施
 - 8 月 31 日（火） 2 次審査の実施
 - 9 月 1 日（水） 本審査の実施
標語、イラスト最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を決定。受賞作品は、八女市独自の募金啓発用資材（クリアファイルやカレンダー、携帯用消毒スプレー）に活用。
各受賞者へは、支会長より八女市内の小・中・高等学校 4 校、障がい者 2 施設にて表彰式を実施した。
 - (ウ) 歳末たすけあい募金運動の実施
 - 戸別募金、その他の募金による募金活動を 12 月 1 日より 1 カ月間実施。
 - (エ) 八女市支会の運営事務
 - 各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ募金協力依頼・ポスター掲示依頼）

- 八女市民生委員児童委員連絡協議会にて、各地区の法人へ法人募金の依頼文書配布の依頼を例年行っていたが、感染拡大防止のため配布依頼は行わず事業所へ郵送を行った。

イ 日本赤十字社八女市地区の運営

(ア) 八女市地区の会費（会員）募集活動

種類	今年度		前年度		増減	
日赤会費	12,440 件	6,315,814 円	12,866 件	6,577,523 円	△426 件	△261,709 円
個人寄附	1 件	3,000 円	1 件	3,000 円		
合計	12,441 件	6,318,814 円	12,867 件	6,580,523 円	△426 件	△261,709 円

(イ) 八女市地区の運営事務

- 各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ会費協力依頼）

例年 6 月より募集依頼を行っていたが、感染拡大防止のため募集時期を 2 ヶ月間延期して 8 月 1 日から募集依頼を行った。
- 令和 3 年 8 月大雨災害の際、床上浸水等による被災世帯に対して緊急セット、救急医薬品セット、タオルセット等の救援物資配布支援等を行った。
配布件数：9 件
災害状況：自然災害（全壊）、自然災害（床上浸水）8 棟
救援物資配布状況：緊急セット（9 セット）、タオルセット（9 セット）
救急医薬品セット（9 セット）
- 令和 4 年 2 月 28 日建物火災の際、被災世帯に対して緊急セット、救急医薬品セット、タオルセット等の救援物資支援等を行った。
災害状況：建物火災（全焼）
救援物資配布状況：緊急セット（1 セット）、タオルセット（2 セット）
救急医薬品セット（1 セット）、毛布（2 セット）
- 日本赤十字社災害義援金募集の協力をした。（社協ホームページに情報掲載）
- 日本赤十字社主催のオンラインセミナーの周知協力をした。（社協ホームページ・広報紙に情報掲載）

ウ 八女市献血推進協議会の運営

(ア) 八女市献血推進協議会の開催

- 期日／書面決議にて開催
- 出席者／15 人
- 内容／主に献血事業報告、会計決算報告、事業計画、予算について協議した。

(イ) 献血（地域献血・職域献血・街頭献血）の実施

- 地域献血

実施日	地区	会場	今年度実績			不採血者数
			回数	受付数	献血者数	
7月2日（金）	星野	八女市星野総合保健福祉センター「そよかぜ」	1回	49人	48人	1人
7月6日（火）	矢部	八女市矢部公民館	1回	31人	28人	3人

7月21日(水)	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1回	121人	93人	28人
8月6日(金)	福島	八女市民会館「おりなす八女」	1回	115人	108人	7人
8月23日(月)	立花	八女市立花市民センター	1回	49人	44人	5人
9月10日(金)	上陽	八女市農業活性化センター	0.5回	23人	20人	3人
9月10日(金)	八幡	八女市西公民館	0.5回	17人	11人	6人
10月18日(月)	忠見	株式会社 熊谷光玉園	1回	52人	49人	3人
10月25日(月)	岡山	八女市室岡公民館	0.5回	27人	26人	1人
10月25日(月)	川崎	八女市東公民館	0.5回	6人	6人	0人
11月1日(月)	三河	八女市立三河小学校	0.5回	9人	8人	1人
11月1日(月)	長峰	マンガ倉庫 八女店	0.5回	25人	23人	2人
11月19日(金)	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1回	93人	84人	9人
11月28日(日)	上妻	ポピー製紙	1回	50人	47人	3人
12月14日(火)	福島	八女市民会館「おりなす八女」	1回	131人	121人	10人
2月24日(木)	岡山	八女市室岡公民館	1回	33人	29人	4人
3月7日(月)	忠見	株式会社 熊谷光玉園	1回	46人	41人	5人
3月15日(火)	立花	八女市立花市民センター	1回	51人	49人	2人
3月18日(金)	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1回	113人	106人	7人
3月24日(木)	上陽	八女市農業活性化センター	0.5回	22人	17人	5人
3月24日(木)	上妻	八女市総合体育館	0.5回	24人	22人	2人
3月30日(水)	三河	八女市立三河小学校	0.5回	10人	9人	1人
3月30日(水)	長峰	マンガ倉庫 八女店	0.5回	19人	16人	3人
合計		14会場	18回	1,116人	1,005人	111人

○ 職域献血

実施日	会 場	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
4月14日(水)	古賀金属工業	0.5回	19人	17人	2人
4月15日(木)	ゆめタウン八女(八女ライオンズクラブ主催)	1回	143人	124人	19人
5月28日(金)	フジキ工芸	0.5回	33人	32人	1人
7月30日(金)	八女建設会館	1回	57人	52人	5人
9月7日(火)	JA ふくおか八女	0.5回	37人	30人	7人
9月21日(火)	フジキ工芸	0.5回	30人	29人	1人

9月21日(火)	八女総合庁舎	0.5回	20人	17人	3人
10月12日(火)	公立八女総合病院	0.5回	39人	31人	8人
11月11日(木)	ゆめタウン八女(八女ライオンズクラブ主催)	1回	170人	152人	18人
2月15日(火)	タキロンポリマー株式会社	0.5回	19人	17人	2人
3月9日(水)	八女総合庁舎	0.5回	21人	20人	1人
3月9日(水)	JAふくおか八女	0.5回	28人	23人	5人
3月16日(水)	公立八女総合病院	0.5回	16人	14人	2人
合計	12会場	8回	632人	558人	74人

○ 街頭献血

実施日	会場	今年度実績			不採 血者 数
		回数	受付数	献血者数	
4月13日(火)	八女市民会館「おりなす八女」	1回	80人	74人	6人
5月4日(火)	ゆめタウン八女	1回	87人	71人	16人
8月13日(金)	ゆめタウン八女	1回	89人	82人	7人
9月20日(月)	ゆめタウン八女	1回	98人	80人	18人
12月29日(水)	ゆめタウン八女	1回	87人	83人	4人
合計	2会場	5回	441人	390人	51人

○ 学域献血

実施日	会場	今年度実績			不採 血者 数
		回数	受付数	献血者数	
11月9日(火)	西日本短期大学付属高等学校	0.5回	46人	35人	11人
12月14日(火)	福島高等学校	0.5回	29人	25人	4人
12月15日(水)	八女農業高等学校	1回	45人	39人	6人
3月1日(火)	八女学院高等学校	1回	34人	28人	6人
合計	4会場	3回	154人	127人	27人

(ウ) 八女市献血推進協議会の運営事務

- 各行政区へ依頼（行政区長へ協力依頼・ポスター掲示依頼及び隣組回覧チラシで周知）
- 各地区事業所を訪問し、協力依頼及びポスター掲示依頼
- 社協だより及び社協ホームページ、八女市広報紙に掲載
- FM八女を活用し、献血実施の放送
- 献血開催地区において、献血開催日の当日に、広報車による献血の呼びかけを実施（地区によって1週間前にも呼びかけを行う）
- 献血会場に健康ポイントカード並びに健康ポイントシールを設置し、献血協力者にポイントを提供
- 8月開催、令和3年度ライオンズクラブ及び市町村献血推進担当者合同研修会の

参加を予定していたが、感染拡大防止のため研修会中止

- 11月開催、令和3年度ライオンズクラブ並びに市町村献血推進担当者合同研修会
担当職員参加

(3) 在宅福祉サービス部門受託事業

① 八女市高齢者生活福祉センター居住部門事業

高齢者生活福祉センターで、生活援助員を配置し居住部門の運営を行った。行事は、誕生会、敬老会、会食会及びお彼岸参り等を行った。

ア 矢部支所（令和4年3月31日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
20室	2名	11名	13名	2名	1名

イ 星野支所

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
9室	3名	6名	9名	1名	1名

② シルバーハウジング生活援助員派遣事業＜矢部支所＞

高齢者生活福祉センターに生活援助員を配置。平日午後に訪問し安否確認等を行う。各部屋に緊急通報システムがあり、緊急時の対応を生活援助員が行う。

（令和4年3月31日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計
10室	4名	3名	7名

③ 生きがいデイサービス事業の実施

高齢者の生きがいデイサービスを実施した。但し、新型コロナウイルス感染拡大防止止のため、4月下旬から5月末まで訪問や電話による安否確認を実施した。※（ ）内は訪問・電話による安否確認の内訳。

支所名	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度利用数	比較増減
上陽 (訪問・電話)	24日 (内10日)	14名	264名 (内164名)	334名	△70名
黒木 (訪問・電話)	244日 (内184日)	138名	2,895名 (内1,615名)	3,164名	△269名
立花 (訪問・電話)	96日 (内85日)	89名	1,704名 (内886名)	1,752名	△48名
矢部 (訪問・電話)	48日 (内22日)	14名	267名 (内137名)	281名	△14名
星野 (訪問・電話)	127日 (内83日)	65名	1,283名 (内702名)	1,201名	82名
合 計	539日 (内384日)	320名	6,413名 (内3,504名)	6,732名	△319名

④ 配食サービス事業

高齢者等の配食サービスを実施した。

（実施曜日：月曜日～土曜日）

支所名	実利用者数	実施日数	延べ配食数	前年度延べ配食数	比較増減
上陽	23名	290日	2,727食	1,980食	747食
立花	43名	293日	5,484食	4,171食	1,313食
星野	24名	291日	1,953食	1,271食	682食
合 計	102名	874日	10,164食	7,422食	2,742食

⑤ 高齢者生活支援ヘルパー派遣事業<立花支所>

生活支援のホームヘルパーを派遣した。

派遣回数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
1019回	34名	666名	348名	318名

⑥ 外出支援サービス事業<星野支所>

高齢者等の外出支援サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
41日	5名	41名	31名	10名

(4) 在宅福祉サービス部門介護保険事業

① 訪問介護事業<立花支所>

介護保険事業の訪問介護サービスを実施した。

区分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	69名	4,473名	4,704名	△231名
第1号訪問事業	78名	4,056名	4,143名	△87名
合計	147名	8,529名	8,847名	△318名

② 通所介護事業

介護保険事業の通所介護サービスを実施した。

ア 上陽支所（地域密着型）

区分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	257日	16名	1,811名	1,762名	49名
第1号通所介護（相当サービス）	242日	11名	455名	288名	167名
第1号通所介護（サービスA）	51日	1名	51名	57名	△6名
合計	550日	28名	2,317名	2,107名	210名

※3月上旬に地域密着型推進会議を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者、ご家族、各関係機関に地域密着型通所介護の年間実績報告及び活動報告の文書を郵送した。

イ 立花支所

区分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	308日	47名	3,761名	3,659名	102名
第1号通所介護（相当サービス）	290日	19名	803名	1,128名	△325名
第1号通所介護（サービスA）	175日	10名	305名	369名	△64名
合計	773日	76名	4,869名	5,156名	△287名

ウ 矢部支所（地域密着型）

区分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度 延べ利用者数	比較増減
介護サービス	230日	31名	1,757名	1,709名	48名
第1号通所介護 (相当サービス)	230日	20名	823名	903名	△80名
第1号通所介護 (サービスA)	58日	4名	81名	54名	27名
合 計	518日	55名	2,661名	2,666名	△5名

※9月21日 第1回運営推進会議開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（9/21・22矢部地区民生委員宅訪問し会議内容報告）

※3月 第2回運営推進会議開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（3/15矢部校区民生委員児童委員連絡協議会定例会にて会議内容報告）

エ 星野支所

区分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度 延べ利用者数	比較増減
介護サービス	258日	28名	3,537名	3,393名	144名
第1号通所介護 (相当サービス)	257日	16名	1,020名	1,229名	△209名
第1号通所介護 (サービスA)	84日	4名	95名	82名	13名
合 計	599日	58名	4,652名	4,704名	△52名

③ 居宅介護支援事業「ケアプランサービス」

介護保険事業のケアプランサービスを実施した。

支所名	契約者数	延べ利用者数	前年度 延べ利用者数	比較増減
黒木	黒木 76名	黒木 619名	751名	△18名
	上陽 0名	上陽 0名		
	矢部 17名	矢部 113名		
	計 93名	計 732名		
立花	立花 78名	立花 674名	892名	△48名
	旧八女 15名	旧八女 167名		
	上陽 1名	上陽 3名		
	計 94名	計 844名		
星野	星野 57名	星野 493名	666名	△5名
	上陽 16名	上陽 168名		
	計 73名	計 661名		
合 計	260名	2,237名	2,309名	△72名

（5）在宅福祉サービス部門障がい者介護事業

① 障害者居宅介護事業<立花支所>

障害者総合支援事業の居宅介護サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用数	比較増減
312回	15名	1,802名	1,471名	391名

(6) 福祉施設サービス部門

① 特別養護老人ホームゆいのもりく矢部支所>

介護保険事業の特別養護老人ホーム「ゆいのもり」（定員30名）を運営した。

ア 延べ入所者数

延べ入所者数	延べ入所日数	前年度延べ入所日数	比較増減
353名	10,100日	10,470日	△370日

イ 入所者の要介護度 (3/31現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0名	1名	10名	11名	3名	25名

② 短期入所生活介護<矢部支所>

特別養護老人ホームゆいのもりで介護保険事業の短期入所生活介護サービスを実施した。

ア 利用者数

区分	実利用者数	延べ利用日数	前年度延べ利用日数	比較増減
介護サービス	16名	1,122日	1,204日	△82日
予防サービス	2名	28日	30日	△2日
合計	18名	1,150日	1,234日	△84日

③ 授産所麻生園<星野支所>

社会事業授産施設「授産所麻生園」（定員50名の通園施設）を運営した。

(令和4年3月31日現在)

ア 利用者数

被保護利用者	日型利用者	合計
44名	4名	48名

イ 行事・会議

主な行事等	主な会議、研修等
バスハイク2回（サーカス鑑賞）（朝倉方面） 避難訓練2回（風水害・火災想定）誕生会（奇数月）	連携会議（月1回） 経営会議（連携会議後）

ウ 授産科目

授産科目	内 容
印刷事業	オフセット印刷（組版、印刷、製本）
加工事業	提灯房作り、紙箱組立、線香巻き、破魔矢組立、お守り組立、ろうそく詰め、みかん皮むき作業、花火袋詰め
葬祭事業	靈柩車運行、葬祭用具・御会葬返礼品斡旋
受託事業	総合保健福祉センター「そよかぜ」お風呂掃除
その他の事業	斡旋商品（お茶・緊急避難セット）他

(7) 施設管理運営部門

① 八女市社会福祉会館の管理運営<本所>

八女市社会福祉会館の管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	1,468名	1,840名	△372名
無料利用者	3,823名	3,665名	158名
計	5,291名	5,505名	△214名

② 八女市地域福祉センターの管理運営（指定管理）<上陽支所>

八女市地域福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	309名	342名	△33名
無料利用者	1,466名	1,708名	△242名
計	1,775名	2,050名	△275名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	4,434名	3,210名	1,224名
無料入浴者	23名	29名	△6名
計	4,457名	3,239名	1,218名

③ 八女市黒木地域交流センターの管理運営（指定管理）<黒木支所>

八女市黒木地域交流センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	2,221名	2,980名	△759名
無料利用者	9,771名	11,401名	△1,630名
計	11,992名	14,381名	△2,389名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	34,582名	22,737名	11,845名
無料入浴者	0名	6名	△6名
計	34,582名	22,743名	11,839名

ウ トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	1,529名	1,563名	△34名
無料利用者	1,280名	1,773名	△493名
計	2,809名	3,336名	△527名

エ 直売所事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
6,463,123円	5,011,187円	1,451,936円

④ 八女市立花総合保健福祉センターの管理運営（指定管理）<立花支所>

八女市立花総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	6,032名	5,000名	1,032名
無料利用者	2,744名	3,429名	△685名
計	8,776名	8,429名	347名

イ 入館・入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入館・入浴者	22,217名	14,145名	8,072名
無料入館・入浴者	8,639名	8,372名	267名
計	30,856名	22,517名	8,339名

ウ 売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
2,324,635円	2,107,269円	217,366円

エ 食堂事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
12,007,580円	11,008,560円	999,020円

⑤ 八女市高齢者生活福祉センターの管理運営（指定管理）<矢部支所>

八女市矢部高齢者生活福祉センター及び健康増進施設の管理運営を行った。健康増進施設では買物支援の店を開店した。（毎週火・木：平成30年度より）

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	0名	0名	0名
無料利用者	144名	144名	0名
計	144名	144名	0名

⑥ 八女市星野総合保健福祉センターの管理運営（指定管理）<星野支所>

八女市星野総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	5,427名	5,111名	316名
無料利用者	2,529名	3,615名	△1,086名
計	7,956名	8,726名	△770名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	17,172名	12,664名	4,508名
無料入浴者	2,391名	1,953名	438名
計	19,563名	14,617名	4,946名

ウ トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	317名	174名	143名
無料利用者	5,415名	5,633名	△218名
計	5,732名	5,807名	△75名

エ 売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
5,224,242円	5,052,198円	172,044円

(8) 葬祭事業部門（収益事業）

① 葬祭品の販売

葬祭品の販売を行った。

ア 矢部支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
14件	1,171,800円	2,346,290円	△1,174,490円

イ 星野支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
29件	2,973,120円	1,913,328円	1,059,792円

② 靈柩車運行事業

靈柩車の運行事業を行った。

ア 黒木支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
102件	1,020,000円	1,020,000円	0円

イ 矢部支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
11件	140,400円	329,400円	△189,000円

ウ 星野支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
22件	461,600円	376,200円	85,400円

(9) 環境衛生事業部門

① 自給肥料供給施設の管理運営（指定管理）<星野支所>

自給肥料供給施設の管理運営を行った。

ア し尿等投入量

し尿	浄化槽汚泥	延べ投入量	前年度延べ投入量	比較増減
976 KL	1,436KL	2,412 KL	2,346KL	66 KL

イ 液肥散布量

田畠	山林その他	延べ散布量	前年度延べ散布量	比較増減
87 KL	2,298 KL	2,385 KL	2,316 KL	69 KL